



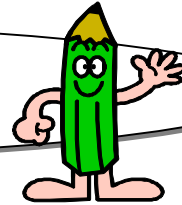
カンムリウミズメ

門川町教育研究所

ふれあい

平成20年6月 NO2
発行 門川町教育研究所
所長 斉 藤 義 輝
TEL 63-1566
五十鈴小学校内(教育相談室)

教育研究所は、今年も、
学力向上のための研究に取り組みます。



研究活動のようす

平成20年度研究員
門川小 小林美樹
草川小 米満直哉
西門川小 高瀬満子
五十鈴小 深江義和
門川中 太田慶子
西門川中 長友政文

教育研究所の研究計画

- 研究回数 毎月3回(原則として 月曜日)
- 研究時間 16時30分～
- 研究場所 教育研究所(五十鈴小学校内)

6名の研究員は、学校の授業が終わって子どもを帰したあと、門川町教育のレベルアップのために、いっしょうけんめい研究に取り組んでいます。

研究の成果は、研究発表したり、研究所便りで情報発信したりします。また、学校に研究資料を提供します。

漢字



教育研究班

授業力を高めるための研究

研究1 読む・書く・聞く力を育てる研究

この3つの力は、学習するときに欠かせない大切な力です。小学校や中学校で、どんな読む力や書く力、聞く力を、どのようにして育てればよいかを研究します。研究の成果は、小・中学校9年間の教育に生かします。

研究2 一人一人を大切にできる支援の研究

学校での授業は、一人一人の実態に応じて行なわれなければなりません。そこで、よく分かる話し方やいい指導の仕方など、子どもの理解を深めるための支援の方法について研究し、授業に生かします。

情報発信班

家庭の教育力を高めるための研究

研究3 子育てや家庭教育に役立つ工夫の研究

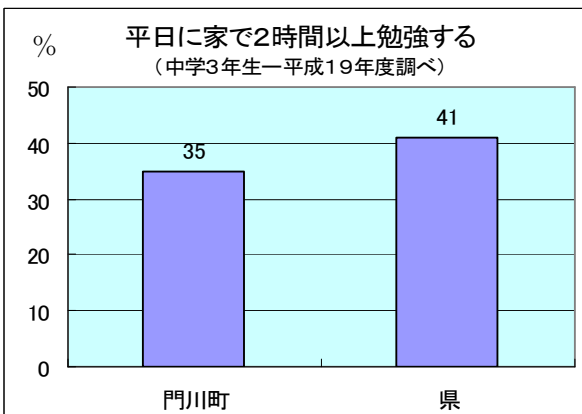
今年は、子ども達が将来の夢や目標をもつために、家庭でどんな工夫をしたらよいかということを中心に、進路指導や家庭学習などにつながる工夫を研究し、お父さんやお母さんを応援するための情報を発信していきます。



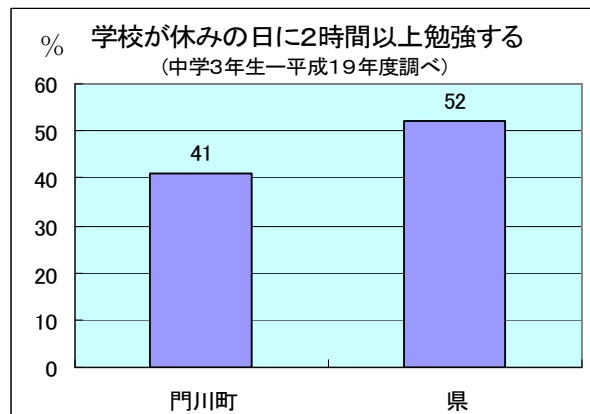
門川町の子ども一人一人の確かな学力を育てるために！
（家庭学習の習慣をしっかりと身につけよう。）



○ 家庭学習の習慣をしっかりと身につけることが、学力向上につながります。



平日に2時間以上家で勉強する生徒は、県の平均より6%ほど少なく、やや家庭学習が不足していることがうかがえます。中学3年生では、最低2時間は勉強してほしいと思います、



休日に勉強する生徒は、やや増えていますが、それでも県の平均より11%少ない状況です。休みの日も、十分に勉強ができているとは言えないようです。

家庭学習と学校での学習は学力向上の両輪です！

勉強のやくそく

- ② 勉強を始める時刻を決める。
- ③ 勉強する時間を決める。
- ④ 勉強する場所を決める、
- * 時計を置いておきましょう。



家庭学習は、学校で学んだことをしっかり定着させるためにとても大切です。家庭学習の習慣がしっかりと身につくと、学力も見ちがえるように伸びてきます。

毎日、決まった時刻に、決まった時間、決まった場所で机につくことを大切にして、家庭学習の習慣をしっかりと身につけるようにしましょう。

子育てや教育で、悩んでいませんか？

困った時、迷った時は、教育相談室に
気軽に電話をしてください。

相談電話（門川町教育相談室）
63－1566

~~~~返信欄（教育研究所便り「ふれあい」へのご意見や感想をお聞かせください。）~~~~